

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮塚新金岡4丁5番第2期高	階数	地上9F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	239 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年3月16日
敷地面積	1,995 m ²	作成者	ニューシエック 宮原嘉成
建築面積	632 m ²	確認日	
延床面積	4,164 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	<p>まちなみ景観として、団地として統一感のある沿道景観を形成するデザインを検討し、公園からの景観にも配慮します。隣接して1期工事が完成していることから、特に1期との連続性に配慮します。</p> <p>設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口を設けます。</p>	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。</p>	<p>・将来のプラン変更等に対応して、設備配管のスリーブを事前に設けます。</p> <p>・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。</p>	<p>・外構の緑化率を15%以上とします。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>・共用部にLED照明器具を採用します。</p>	<p>・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。</p> <p>・再生砕石を使用します。</p>	<p>・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府営堺新金岡4丁5番第2期高層住宅(D棟)	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番1、5番2、6番2の一部、15番1	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 4,164.23 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	3	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.7	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				3.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.4
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
なし	
特に配慮した事項	
なし	